

世界の遠隔教育に関する全方位調査（調整中）

- 世界の遠隔教育における一般的傾向と特色ある取り組みに関する調査—比較研究のための情報収集—
 - 目的
 - 全方位的に諸外国における遠隔教育の実態を調査し、諸外国における特色ある取り組みを確実に把握する。
 - 実施計画書にあるようにレスター大学の調査を中核に、三つの部門に分かれて、専門的な比較調査を行う予定であるが、同時に、全方位的な調査も行う。
 - とりわけ初年度については、世界の遠隔教育の実態特に一般的傾向と特色ある取り組みを行っている国や地域を確定する。
 - 方針
 - 遠隔教育調査研究チームのコアメンバーである各教員は、各自、最低一国あるいは一地域を担当することにする。
 - 方法
 - 調査方法としては、直接現地での調査もちろんであるが、インターネットもしくは文献調査、各国の教育省との連携において調査する。
 - 世界各国の実態調査で気づかなかった点や特色ある取り組みを知らなかったというようなことがないように、種々の資料を体系的に収集する。
 - その際、学内外の研究者間ネットワークなども有効に活用する。
 - 特に各国の状況に詳しい東京大学総合文化研究科あるいは東京外国語大学などとの連携も必要である。また、コアメンバー以外のアドバイザー教員、たとえば、早川茂や板野俊文はカナダについての情報提供を行うなど、特定の地域の情報に精通している状況をうまく活用する。さらに香川大学の情報資源としては、交流締結大学などのネットワークも活用する。
- 調査対象国・教育省・地域および担当
 - **韓国 Cyber Universityと教育・人的資源開発省（Ministry of Education & Human Resources Development）**
 - **担当（調査内容は暫定的な課題を設定している）**
 - **村山 聡（Cyber University 制度の歴史と国際比較による評価）**
 - **高木由美子（科学（特に実験化学）分野におけるCyber Universityの可能性と限界）**
 - **平 篤志（韓国におけるe-Learning特にCyber Universityに関する政府の政策と関与の実態）**
 - **林 敏浩（韓国における情報技術の展開とその国家的支援体制）**
 - **宮島美花（韓国社会におけるネットワーク）**
 - レスター大学
 - 担当
 - 村山 聡
 - 原 直行
 - 平 篤志
 - 高木由美子
 - ドイツならびに中東欧
 - 担当
 - 村山 聡
 - フランスならびに西南ヨーロッパ
 - 担当
 - 平 篤志
 - 英国
 - 担当
 - 村山 聡、原 直行ほかレスター大学担当メンバー
 - 米国ならびにカナダ
 - 担当（コロラド州立大学）
 - 高木由美子
 - 村山 聡
 - 寺尾 徹
 - 担当（その他の大学および地域）
 - 中西俊介、平 篤志ならびにコロラド州立大学担当メンバー
 - オセアニア地方
 - 担当
 - ボール・バテン
 - 韓国および中国
 - 担当
 - 林 敏浩、平 篤志
 - タイ、インド、バングラデシュほか南・東南アジア地域
 - 担当
 - 寺尾 徹
 - アドバイザー：片山健至
 - アフリカその他の地域ならびに各国の教育省等
 - 担当
 - 松尾邦之、村山聡ほかコアメンバー全員

世界の遠隔教育に関する全方位調査（調整中）

- 情報収集において連携可能な日本の大学・大学院・研究所等
 - 東京大学総合文化研究科（村山担当）
 - 東京外国語大学（村山担当）
 - 総合地球環境学研究所（寺尾担当）
 - 早稲田大学遠隔教育センター（宮島担当）
 - 国立情報学研究所（林担当）
 - その他